

移行期支援看護外来

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター R5年

子どもの療養行動における自律・自立のための、めやすと必要な支援

患者氏名

担当医

※14歳前後「移行期準備期外来」

※17歳以上「移行期支援外来」

年齢	10～12歳（準備期）	12～15歳（1回目）	16～18歳（2～3回目）	19歳～（最終）
月・日	月 日	月 日	月 日	月 日
子ども 保護者の目標	保護者の目標：親子で将来成人診療科に移行する準備ができる	自分の疾患について理解し日常生活において気を付けることがわかる	将来、成人診療科に移行することができる	疾患について理解し定期受診の必要性を認識し、成人診療科に移行できる。 ※自己で治療に対して決定ができる
	<ul style="list-style-type: none"> 親子で病気について話をする 親子で内服薬について話をする 保護者は、症状を自分で医師に伝えるように促す 自分の病名が言える 周囲に体調不良を伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の病名、手術名が言える 受診及び受診時の手続きを保護者と一緒に行う 内服薬の管理を自分で行う自覚を持つ 日常生活で気をつけることがわかる 周囲に体調不良を伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 受診が自分主体で行える 内服薬の自己管理ができるようになる 日常生活で気を付けることが言える 受診すべき症状がわかる 応急処置の内容がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 定期受診の必要性を理解できる 内服薬について理解し管理できる 日常生活で気をつけることを理解し、将来のことに目を向けることができる 受診が自立して行える 受診すべき症状がわかり、対応ができる
看護師の説明	<ul style="list-style-type: none"> 移行期外来について説明する 病名、手術について理解しているか確認する 内服薬について（管理に向けて）説明 受診する理由を知っているか確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 病名、手術名、病状の理解度の確認 内服薬の管理ができるように支援する 療養行動ができるように支援する 喫煙、飲酒について（継続して説明）→ 進学、就職について（継続して説明）→ 	<ul style="list-style-type: none"> 内服や自己健康管理ができているか確認 移行期支援を始めることを本人、保護者に説明し支援計画を提案し、移行に向けて支援していく（移行サマリー記載の支援含む） 移行期支援看護外来は14歳前後に初回介入を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 本人が移行サマリーが記載できるように支援する 移行準備が整っているか、病識や自己健康管理能力があるかなど確認する 成人診療科への転科支援
主治医の説明	<ul style="list-style-type: none"> 病名、病気、過去に受けた治療などについての説明し紙面で渡す 検査の内容や何を調べているのかわかりやすく説明する 移行支援のゴールについて明確に説明する（子どもが移行サマリーの記入ができる、成人医療へ移行できるなど） 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども中心に病状についての確認や、療養行動ができているか確認する 子どもに受診しなければいけない症状を説明する 薬の名前、用法、副作用を説明する 検査値の見方を説明する 妊娠・出産について説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども中心に、病状についての確認や、療養行動ができているか確認する 子どもに受診しなければいけない症状を説明する 薬の名前、用法、副作用を説明する 移行期サマリーの内容を確認 検査値の見方を説明する 妊娠・出産について説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の病状について説明する 起こり得る症状と、受診すべき症状を理解しているか確認する 薬の名前、用法、副作用を理解しているか確認する 妊娠・出産について説明する 移行期サマリーの内容を確認 成人診療科への転科の調整